



おふやくせりよ よはねでえあくいんるよ

トめよ ことを あり、 ことを わまと ともよ あり、  
ことを むすぶもち わまと あり。 これ もトめよ わまと  
ともよ ありーもの あり。 あとゆる もれん これよ よのて あれり。  
ありー ゆはん ひとうとて これよ ようで ありー われ あり。  
<sup>4</sup>これよ りのち あり、 りのち わんげんの ひうち あり。 そ  
ひうち うとう てりて うとう これ うけざりき。  
かと より つうを うねる よはねと あげくる ひと あり。 めれ  
あらーの さめ すあもち オのれよ ありて すぐその ものを おふせ  
ーめんと ひうち ついて あらーを うそん さめよ きくれり。  
<sup>8</sup>めれ その ひうち あとす、 うそ ひうちよ ついて あらーを  
うそん さめよ きくれり あり。 およ うざりて おんみんを うそす  
もの あらとの ひうち あり。 <sup>10</sup>めれ より あり、 より めれよ よのて  
ありー、 されど めれを あとす。 <sup>11</sup>めれ オのれの ちよ きくれり

1 よおのれのたゞ されど うけざり也。12 されど すべて されど  
うけしものすあるもそのあをあんするものへ されば されよ かみの  
おどかとあるのちうとを あおへり。13 これとへ もすぢよ ふとす、  
あくすりのよくよ ふとす、あくひとのこくろすむ ふとす、  
かみよ よりて むおれーあり。14 その ことば あくすりとあり、めぐ  
まと あことよ まちと されしのうちよ やどれり。されと その きり  
ううを まちの うそ うそひーひそりあの きりうすの こと。  
15 よはねのれの さめよ あくーと あーと おびりひけみ、され  
めうと、こな あとよ まかうる ものへ され あり。16 その  
ゆうう ある ゆうう うち あり されと まかうけて めぐみの うへよ  
され あり あされりとりひーと とうの ゆのへ され あり。17 おせとへ もうせよ ありて さげけよ、  
めぐみと あことと あを きりをとよ ありて きくられり。18 りおぎ  
かみを まかうる もの あとす、ふとひひとりの むおれさる かみ すす  
まち まち まちの ふとまうよ ある もの の うれと あとせり。

19 よはねの あくーする こと さの ごとー、ゆだねびと あらきむ  
あり さりー さりと きびりと とよはねよ つうもーと、あらぢら うね  
ぞやと とよせーと とよは 20 よはねりあわ とよう あくひ あと  
もーと、こねへ きり生とよ あとすと あすと うよ いへり。21 かれ  
あくとひける、さうべ あらぢら うねぞや。えりやあらひ。こくへ  
けり、さよ あとす。あら、あらぢら めの うげんーや あくうと  
とひーよ、あらじと こくへり。22 こくよ おりと うれと うれ  
うれと、うれとを つうもー もの うけねと うくへを あす やうよ  
あらぢら うね あくひ うねと つけよ。あらぢら よのれの ことを  
あかと うか。23 かれ こくへ けり、こねへ うけふー や あさやの  
りひー ごとく、まちの まちを あけすぐよ せよと はよ あぶ ひとの  
こゑあり。24 その つうも うね うねと うねと うねと うねと  
うねと あくと うけふー うけふー、あらぢら きり生とよ あとす、えりや  
よあとす、やの うけふー や うねと あとすと あらぢら うげめと うどと  
すす。26 よはね こくへ うけふー、うねと うけふー うけふー うけふー

とを 知りゆる。されど あるぢとて おとづる ところの もの 又  
あとよ きなり あるぢとの うちよ そり。27 これひ その ぞうりの  
ひよと とくゆ まとざる ものあり。28 これひの ことく よはねの おげ  
りと おどとせー とくろ ある よるだんの むらふべたに あよそ あれり。  
29 あくる ひ よはね あすの おのれよ きなり と そて ひめ けり、  
よの つみと のぞく とくろの カミの あむのト とよ。30 さげ あとよ  
きる ものへ それ あり さきよ ありー の 無よ され より まされる  
もの ありと さげ ひめー とくろの ものへ これ あり。31 これ もと  
もの ひとと あとす。されど され きなり ひとびとと そげよ あら  
むるい めれを いたら えよ あとを きなげ さめ あり。32 よはね あさ  
あらし して ひめ けり、され みさ あが もとの ごとく てん あり  
くどりて その うへよ とくろ あまと きなり。33 これ ゆとめの ひとと  
あじぎれども ひとびとと そげよ あげめ きせんと それと つうを  
せー もの から せれよ くり、あるぢ みさ あの くどりて その  
うへよ とくろ え。これ きみ みさ あま わりと あげめと

わどどす もの ありと。 <sup>34</sup> ゆゑよ され されと みて めれん かみの  
むきあ ありと あらーを あせり。  
西ある あるるひよはね そのでーの あさりと とあよ <sup>35</sup> さち 多事  
の あるくと みて りひけり、 かみの あむつと と みよ。 <sup>36</sup> あうりの  
でー その ことを きみて あまよ あさぐくり。 <sup>37</sup> あを ありゆくり  
あれトの あさぐくを みて こねよ りひけり、 あんぢト あかと  
あとむるや。 こまくと ひひけり、 らび、 りづくよ やどうや。  
らびと とけべ せんせり あり。 <sup>38</sup> あを めれトよ、 きくり みかと りひ  
けれど われト ゆきーで その やどる とどうと みて その ひめれと  
とあよ やどれり。 とまへ ひよの あさー どう ありき。 <sup>39</sup> よはねの りひ  
しと きもと あをよ あさぐひー ふくりの うちの ひめりへ 赤せん  
べての きやうびの あんてれあり。 <sup>40</sup> われ あう その きやうび おもん  
よ あかと あれよ のひけり、 こねト あおよ あくり。 こねと  
とけべ きりもと あり。 <sup>41</sup> つりよ われと あまよ つれの きけねば  
あを これと みて りひけり、 あんぢい よはねの むすおあもんあり。

あるやうなけをとあげけどるべー。けをのりまへておあり。

“おくるりをせざりよめぐるとするときほよあかと、  
されよもぐくとりへり。おほほいあんとれとべのすめるまち  
べせきいたのひとあり。45 おほほあたあえるよあくそりひけり、  
されとおうせぢねまのうらよあくそりひけりやまの  
あらせーともうのひとすあもよせかのむちあされのあをよ  
あく。46 あたあえるわれよりひけり、あざれよりよきむれりう  
づけり。おほほひけり、おうりてみよ。おもあたあえるの  
おのれよおうりてみれをなしてひけり、みよ、これある  
とのいせらえびとくーりうきりあきゆのぞ。47 あたあえるひ  
けり、ああとよれてされをなすあから。おもこくへけり、  
おほあんぢとよぶあんあんぢぢりらじうのきのあくよをる  
ときされあんぢとみうり。48 あたあえるひけり、らび、ああ  
さんかみのむせおあり、いせらえのぬうあり。50 おものうあみ  
けるい、されあんぢぢりらじうのきのあくよをるとみうりと

りのいのちはあるが死ぬ事あり。死ぬことはある  
事あるべし。あるいひきあひける、されあことよある  
とよあるからトよつけん、こののちあるからトてんひづけか  
かこのつうひづけかあんげんのむ生のうぐよのなりそなり  
すをとえ。

第三章 そむきやめよ あはれういの めあよ こゑれのありけらぐ 無きもの  
はも そもよ それり。・あまと その でーゆ こゑれのよ あねうれ  
さり。・おどろく一の つま ければ あまのはも めれよりひけり、  
めれどよ がどうしゆ あー。・あそらそくして ひけり、そんかよ、  
され あらうと あわの めくもり あらぬ。・さうと まへり おざりく  
トキ。・その はも あらべども りひけり、あらうとも めれ  
あるうと よりひけることと これと あせ。・さて わーくよ ゆだわび  
との きよめごとくの あともよ あらうと あらんたる ひりの い  
ぐめ むくありーぐ あも あらべども もうち、めめよ そくを そく  
せよと ひひければ めれど くちまで これよ そくせり。・また めれ

よ、りあくまをあらわひのつうきよなきせとひのけれどもれ  
これをさうせり。あるおひのつうき みげのあどか一ゆはめもり  
さうをあめそそのつげよりあるうをふへせり。うへ みげを  
さう一あゆぐんこれをあれり。またあるおひのつうき みあくみを  
あびてりけり。すばるのひととくがねはあら あどか一ゆを  
うへて きやうのねうくの三一とがはあへた みだりのゆを  
うへす。あらうはあゆぐんりあはうへるあで あら みだりのゆを  
うへくめぐり。11 あをもじめてこのかへがあるあか一とせうりの  
ああねおりをねとあひそのかうをあらむせ一はだへくちわれを  
あるせり。12 こののちあを、そのはく、かくうだりおもびで  
うちをあらむよそだり一が かへよあぐくとじあせだりか。

13 ゆだやびとのすきこーのまづりちうげきければあを あらまきむ  
よのがれり。14 めれみゆのうちよ う一、ものト、そとを うるゆの  
おあびりやうぐんするゆめにざすを みと、15 あをとむらとあ  
めじと う一を ことじとみやよりおひうへ、ありやう

うるするものゝやねをちうて そのうちとくあして 16 もとをうる  
ものどもよひけり、このやねをとりてされ。 17 がちの  
りくとあまゆひのりくとするあられ。 18 さてでても、あまゆの  
りくのやめよねりーんされをうそひつまかねとあるゆきゆくを  
おもひりだせり。

18 ゆだやびとあまよめたりて ひけり、あらぢころとのことを  
おこあひされば ああのがまーを已れじよ あめすや。 19 あもるる  
こそりひけり、あらぢト そのみやを こびて、已れ そのうの  
うちよこれを うそえん。 20 こゑは わりて ゆだやびと ひけり、  
このみやを うつむかひ あとうろくねえ やうりーよ あらぢ その  
うのうちよこれを うづけふや。 21 あまの やくいのーへおの  
れの やくいのみやを さむるあり。 22 そのあより おみぐりくり あ  
ひーのちでーうち そのやつて やくめうりーうとを おもひりだ  
してせりーまと あまのりひーうとを あらせり。

のそのおこあふとくろのあーぎのあふーをみてそのあと  
あるせり。<sup>24</sup>されどあそんまげうととわれよあうせす。そへ  
すべとのひとをありとあくばあり。<sup>25</sup>あくまげうとひとのこ  
うのうちをあるがゆゑよひとのこととをあうーするものあふよ  
おふ必ず。

**第二章** ゆだやびとのつうきよとにごととりぐるせりきいちうの  
ひとあり。<sup>26</sup>われどるあまよりうりてりひけみ、らび、ひねト  
あんぢいかとありまぐりーせんせいかとある。そいかとひとと  
とゆあらよあとせねばあんぢげあすとくろのこのあーぎある  
あそーんひとこれとあーをせねばあり。<sup>27</sup>あそくとてりひ  
けみ、されあそとよあそとよあんぢよつけん、ひとゆーあト  
くよむされよふべかうのみくわどもることあふます。<sup>28</sup>にごと  
りひけみ、ひとすげよおりぬねばりうをあくまびむあるミ  
ことをえんや。あくまびはうのうりあらよりりとわかるづけん、  
や。<sup>29</sup>あそくとてりひけみ、されあそとよあそとよあんぢよつけん、

ひとくまげとみくわのよよりとむあれすふべかうのみくわみりる  
ことあふます。<sup>30</sup>あくよよりとむあれくゆのくふくあり、うすよ  
よりとむあれくゆのくふくあり。<sup>31</sup>これあんぢとてあくよ  
むあるべきこととあんぢよりひーをあやーむあられ。<sup>32</sup>ゆせん  
きあくよあく、あんぢそのおとをきけどゆいづくよりくまく、  
りづくゆくゆくとあとす。すげてみくわよよりとむあれくゆのく  
ゆくのくとー。<sup>33</sup>にこてもこくくとてりひけみ、りうでこのこと  
あとふや。<sup>34</sup>あそくとてりひけみ、あんぢいせらえるのあーやは  
あらよあらよこのことをあとせむり。<sup>35</sup>されあそとよあそとよ  
あんぢよつけん、されとあるとくろのこととてりひ、ミーとくろの  
もれをあらーすくよあんぢとせねとのああうとをうけす。<sup>36</sup>これ  
ちのことをりふよあんぢとこれとあんせすふべこれちふの  
こととてりあゆあんぢとくうをあんせんや。<sup>37</sup>ちふよりくさりー  
ゆのすあそち「てふよをる」あんけんのむすあのわうよりあよ  
てふよのがりーゆのあー。<sup>38</sup>もうせぢめよおりとつげとあけー

ごとく あるげんの むすき めぐら あけたるべ。 15 すべて めれを  
あるする ものよ せぎり あきりのちを うけしめふが さめ あり。  
16 それ かみの もを あり。 17 かみの こと その うみー ひとり むす  
きを さむへる もと あり。 18 すべし めれを あるする もの わうび  
かして セギリ あきりのちを うけん さめ あり。 17 かみの その むす  
きを よよ つうを せーへ よの つみを せーへ よめよ あとす、 よ  
めれよ よりて すぐひを えん さめ あり。 18 めれを あるする ものへ  
つみよ さざめ されす、 あるせざる ものへ かみの うと さすめ  
ひどり むす めの ものを あるせざるを もりて すぐよ つみよ さざめ  
されすり。 19 その つみよ さざめ と まへ ひうちよ まくさり よ  
ひとびと その わとかひの あーきよ より ひうちを あらせす そ  
そトキを あらすねば あり。 20 すぐて あーき ことを ねとあふ ものへ  
ひうちを あくまと ひうちよ まくさり とす。 これ その わとかひを とく  
めれん ことを おそれ あり。 21 されど まととの ことを ねと  
あくまのへ その わとかひの あらせす やうよ ひうちよ まくさる。

かみよ あるぐみて ねとあくべ あり。

22 この のちを その でーきらと ゆだやの ちよいみり めーこよ  
とくよ とくありて あげめを あせり。 23 よはね も さとむよ ちうき  
あいせんよ きりて あげめを あせり。 めーこひ みづ ねあせだ ゆゑ  
あり。 ひとびと めれよいみりて あげめを うけたり。 24 この とき  
よはね りあざ らうやよ いね されす。

25 よはね の でーと ひどりの ゆだやびとの あひだよ きよめどとよ  
つくりて ぎうん あり。 26 めれど よはね よ きよめと うひけみ、  
らび みよ、 よるだんの ゆうよ あんぢと とくよ あり。 もの す  
もち あるぢだ あうーと あせーと とくの もの いよ あげめを あすよ  
ひとびと とくよ あれよ いふる。 カ よはね こうへて うひけみ、 てん  
より さあ さよ あじざれば ひと ああ うくと とく あー。 28 こぐ  
めうと、 され せきり きよ あじす、 さと めれの せきよ つうを され  
くら ありと うひーことの るよ うと さく る ものへ あるぢと あり。  
29 もあとめと むくら ものへ ああ すと あり。 そあ すの とく

うちでこれをおもく。もあむとのこゑをまくよよりておちひよより  
とふ。なげこのよろこびにすぢよみそり。<sup>30</sup> われのめあくすさうふよ  
あり、されかあくすおとくへん。<sup>31</sup> うへよりくがるものいすゞ  
そのゆゑくうへあり。ちよりあるものいちはくぞくしてちの  
ことをりふ、さんよりくがるものい「すべものものいうへ  
あり。<sup>32</sup> われ」ミーとこうきミーとこうのことをあくすよ  
そのあくすをうくるゆのあく。<sup>33</sup> そのあくすをうくるゆのい  
かきをあらとくしてりふをねせり。<sup>34</sup> かきのつうをせーとこう  
のものいかきのことをりふ。そんかきみくをみくをそりあく  
これよもくぐべあり。<sup>35</sup> ちくいむすをとあくしてすべものいみを  
そのてよさげけくぎり。<sup>36</sup> むすをあらせざるものいのちをそる  
りのちをそり。むすをあらせざるものいのちをそる  
こととえふ、さんかきのりうりそのうへよとどするあり。

## 第四章

多きおのれでーととりておげめをあせるることよはね  
ありゆおわーとせりきいびとのまくよみそりある。<sup>2</sup> されどあくす

あをしきうとおげめをあせるよあとす、そのぞーくちこれを  
あせるあり。<sup>3</sup> そのときあをゆだやをさりてあくめりいよ  
のぞー<sup>4</sup> しまりあをとくじくまとをす。<sup>5</sup> つゆよやこがぐその  
むすあよせふよあくへーちよちうきせめるとりくらしまりあ  
まちよりくれり。<sup>6</sup> わーくよやこぶのりどあり。あをしきのつう  
れあそりどのめくをとよざせり。ときわだいろくとどくありき。<sup>7</sup>  
さてひとりのしまりあをあをしきをくすとそそくさり  
ければあをゆめよむらひそ・これよのあせあとりくり。<sup>8</sup> この  
ときでーくらんすぢよあよくめりとゆくさめよまちよゆき  
きり。<sup>9</sup> しまりあをあをゆめよりひけくい、あんぢんゆだやびとよ  
ぞや。こへゆだやびとよしまりあびとんあトモリをせざればあり。<sup>10</sup>  
あをこくへけくい、あんぢんゆーかきのこあむれおあび  
のあせよとりふものいされあるうをあとばあんぢくれよゆと  
めてこれあふぢよりけるしげをあくへんゆれを。<sup>11</sup> あをありひ

けられ、かまく、あんぢんつるべどゆゑす。あはりどもふりまよ  
あんぢりげくありそりけらるみげをえふや。<sup>12</sup> このひどい口れ  
のせんぞやこがのあくへーとこうすーとめれとそのあどゐ  
おあびけめれまでもさあこねとのみさり。あんぢんめれよりも  
おちひあるものあふり。<sup>13</sup> 無をこうへとりひけらる、すべそ  
このみげをのむゆのんまくめもしらん。<sup>14</sup> されどみげあさゐる  
ところのみげをのむゆのんりつゆでゆめくことあー。さげ  
あさゐるみげひめざりあきりのちよりづるまでめれのうちよ  
ひきのびるみげのまあもともあづん。<sup>15</sup> をふあいひけらる、  
きまよ、これゆゑもくことあくあくうむめよこくよきくとざる  
やうよそのみげをきれよあくよ。<sup>16</sup> 無をりひけらる、あんぢ  
ゆゑをきゆとをよびこくよきずれ。<sup>17</sup> をふあこくへけらる、  
されよをゆとあー。無をりひけらる、あんぢをゆとあーとりく  
くわゆのとゆあり。<sup>18</sup> あんぢんがまよさわんのをゆとをゆそり、  
さねどりまあるものんあんぢのをゆとよあくよ。あんぢの

りひーそのこといまととあり。<sup>19</sup> をふあめねよりひけらる、  
きまよ、これみよあんぢんよげふーゆあり。<sup>20</sup> されどのせんぞ  
かまくこのやまよねゆてをぎをあせり。あくよあんぢん、  
ひとのをぎむべきところいあるきむよありといふ。<sup>21</sup> 無をりひ  
けらる、をふあよ、これをあんぢべー。あんぢんじくちくををぎむ  
ところいきくこのやまのとあとす、あさゑゑきむのとあと  
きるときだきくじん。<sup>22</sup> あんぢん、あとざるところのゆのを  
をぎむ。されどいあるところのゆのとをぎむ。すくひんゆだや  
びとよりりげねばあり。<sup>23</sup> あくとのをぎむのんうあとまこと  
みてちくををぎむときだきくじん。りおそのときよあれり。  
そい、ちくのどとくをぎむゆのをゆとめさす。<sup>24</sup> かまく  
さすあり。これををぎむゆのんうあとあくとよてをぎむべー。  
をくありひけらる、これきりまをくじくまおあのかくじんこと  
をある。かれきるときすゞることをされどよつけん。<sup>26</sup> 無を  
ゆよりひけらる、あんぢよめくらとくのみねらめれあり。

27 そのとせでーうちまきくらを やねぐをもあと やくわるをあや  
一めり。されど あんぢい あふを もとむるや、あくらへ あおゆゑよ  
をもあと めくらやとりよ もの あらりけ。28 こくよ わりそ をもあ  
その みげぐめと のこーと あちよ ゆき ひとびとよ つけと りひ  
けくら、29 やがおこあひー ことを ことじとく これよ つけーひとと  
きくらり みよ・こい きりまをよあとすや。30 さて ひとびと あちあり  
りぞく 無事の むとよ いきれり。

31 とせよ でーうち あまよ ケグみて、らび、あまくー まほんと  
りくら。32 こくへそりひけるい、されよ あんぢうが あとざるとと  
ちの くじよ べき あまくらめり あり。33 でーうち さぐひよ りひ  
けくら、されり れよくとよ べき むねを もち さくらりーや。34 あを  
かれよよりひ さあひけくら、35 やが あまくめりとん されを つうそ  
せー ゆのま むねを ねくあひめり その こくらを あとづること あり。  
36 うな あり よのま さくらめりのれ どさよ あとふと あんぢう  
り まきくら。37 みよ、され あんぢうよ つばえ、めを あけと ちくを  
その えくとまを つぎくり。

38 そのをもあぐ あらへて、され やが おこあひー ことを ことと  
ごとく きねよ つぱりと ひひー ことを よりて その あちの さまりあ  
ひと ねあく 無事を あらせり。40 ゆゑよ さまりあびと 無事の むとよ  
きくらりと その めねとと ともよ とく おとん ことを ねぐひーうば  
あくらめくとよとく あり さあくら。41 めくら ねあくの もの 無事の  
ことよ よりて あんぢー 42 せんあよ かくらりて りひ けくら、  
されとい あんぢの ことを よりて あんずるよ あとす、 みげうと  
きくら これよ あとよよの すくひめー あらを あまよ よりて あん

するあり。

<sup>43</sup> あつり すぎて 無を そとを さり けり けり。 <sup>44</sup> そ  
無を そげうじ あらしもと、おけふーぬい その ふきさとよ わりと  
さかと おれすとりへり あり。 <sup>45</sup> けりういよ いきりー とき けりうい  
ひと これを むうぐり。 そい さきよ あるきむよ おひて まつりの  
とき めの おこあひー ことを めれと も まつりよ のまて ましよ  
よりて あり。

<sup>46</sup> つゆ な 無を まく そげを ぶどうーのよ めを トゼー ところある  
けりういの せあよ いきれり。 <sup>47</sup> そんの とき める あらむよて やあひよ  
めくれる むすあど もくら ひそりの きあん あり けり おの  
けだや あり けりういよ きくらるを きくそ つゆ な めれよ ゆき そ  
くざりて おのれの むすあどり やさん ことを ねぐぐり。 そん むすあ  
わとふど おあんと すれ ば あり。 <sup>48</sup> 無を めれよ いひけり、 あんぢ  
ト あらしと かーぎの えびを さきよ あと さわば あんす あト  
<sup>49</sup> きあん いひ けり、 きみよ、 エゲ むすあの おあさる さきよ

くざり さあへ。 <sup>50</sup> 無を いひけり、 ゆけ、 あんぢの むすあひ いそ。  
その ひと おのの おのれよ めくらー ことを あんト せされり。  
<sup>51</sup> そらを ゆく とき その あむべど めれよ あんそ つけり ひけり、  
ああさの むすあひ いけり。 <sup>52</sup> きあん めれとよ その りを そめー  
とすと そげねーうべ、 きのふ おち あねう さめさり と いぐり。  
<sup>53</sup> ちくら おおの めれよ あんぢの むすあひ くと いひー ときと  
そん ときの おあト とき あらと あり おのれ おうび そん りくの  
もの えあ あんせり。 <sup>54</sup> 無を ゆだや あり けりういよ いきりー  
そん おこあひー かーぎの あらー これ あり。

**第五章** この のち ゆだや びとの あらり あり けり が 無を あるきむよ  
の がれり。 <sup>55</sup> あるきむよ おりそ ひつとも の わとりよ へおる  
こと およそ べて せだと と あらる いけ あり。 <sup>56</sup> そん まどりよ いりう  
りの ひさー や あり ひやう あん、 めくら、 ちくら、 および おとう  
くさる もの、 おあせの そん うちよ かー ゆさり。 <sup>57</sup> さて さんとう  
おちねん やめる もの カー こよ あり い が。 無を そん ふー きよを

ミ、その やあひの ひきーきと ありて これよりひけり、あんぢ  
いえんことを わけする。やめら もの こうへ けり、きみよ、  
みげの うそく とき されと りけより まゝ もの あー。され ゆく  
うちよ わらの ひと されより さきよ うがる。ゑす めねよ、お半  
よ、あんぢの ねどくと とりて あまけとりめ けれど。その ひと  
くらじくらよりえ、ねどくと とりて あるけり。その ひん あんそく  
あちあり。ゆゑよ ゆだやびと りゆきれくる もの よりひけり、  
けふら あんそく あちあれば あんぢねどくと とり あぐらへ お半  
をよ めあそせ。ゆれ こくへ けり、されと りやべー もの なれよ、  
あんぢの ねどくと とりて あまけとりへり。こくよ おりて めれと  
これよ とひけり、あんぢの ねどくと とりて あまけと ひひ  
ひとへ されぞや。りやきれー ものへ その これ あるを ちとさ  
りき。そん めーこよ おなきの ひとびと きり ゆゑよ あを すぐよ  
さけくれば あり。

<sup>14</sup> のち 猫をみゆきて その ひとよ あひーうべ これよりひくま

くり、きよ、あんぢへりをふり。あく つまを こうす あられ、おをト  
くら あやねゆき こくへるひよ あそん。<sup>15</sup> その ひと ゆきて ゆだやび  
とよ、されを りやせー ゆのへ あを ありと つぐ。<sup>16</sup> さて ゆだやびと  
あまの あんそく あらよ その ことと ねこあひー ゆゑよ かれと せめ  
くり。<sup>17</sup> 猫を めれとよ こくへて、已だ ちう りよよ うる まを  
もくじき ふあふ、されある まくとくとりへり。<sup>18</sup> こくよ おりて  
ゆだやびと りよりよ あまを こうせんと もうれり。そん めれ あん  
そく あらと きりす のと あとす、かまを ゆわねの ちとと ひり、  
みぐらと とかまと ひとーく すれば あり。

<sup>19</sup> その とき 猫を めれとよ こくへて りひけり、されあるとよ  
あんぢよ つけん、むすあい ちの ねこあふ とくろを みるの  
わうりん みぐらと あふと とくろを エコアフ こと あくそす。ちの  
おこあふ とくろに むすあふ あふこれを ねこあふ。<sup>20</sup> ちくへ むす  
あを ありーと みぐらと おこあふ とくろの すべの ことと これよ  
あめす、やう あんぢうげ あやーむ わどよ この こと おりも おわひ

○ よはねどり 五去やう 5

四百

ある口をこのよあめさん。<sup>21</sup> そんちのちかみをよみぐれと  
せてこれをいろすり どとくむすあゆその わけするところの  
ものとひうすあり。<sup>22</sup> ちくいこれをもさむらふ、すべてのさを  
きを むすあゆ あらせより。<sup>23</sup> これ すくのひととして ちくい  
うやあくが どとくむすあを うやあせせぬためあり。むすあと  
うやあせるものいこれとつらをせーちくい うやあせざるあり。<sup>24</sup>  
これ あことよ あことよ あんぢとよ つけん、口が ことを きくと  
されと つらをせーものと あんするものいめぎり あきりのちを  
うけて つまよ さくめされず、さく おより りのちよ うのれり。<sup>25</sup>  
あことよ あことよ あんぢとよ つけん、あかー ものかみの むす  
あの こゑを きくときが きくじえん、りほ そのときよ あれり。その  
こゑと きく ものいりくべー。<sup>26</sup> ちくい そげうと りのちを さく  
せる ごとく むすあみゆりのちを さすひを そげうと これを さく  
せり。 やう われい あんばんの むすああよよ 内を さくを さくを  
おこうべき けんを これよ さあくり。<sup>28</sup> あんぢと これを あや

一 もあられ・そん そよをる もの そあその こゑと きくと ひうる  
と せう せうじふとす。<sup>29</sup> つか ことを おこあひー ゆのいりのちと  
うみよ おみぐへり、あーき ことと おこあひー ゆのい つまぜと  
うみよ おみぐへる べー。<sup>30</sup> されい そげうと あわを ゆおこあふ こと  
あふを あふ・ そん 口が きく と そよ あらぐふを させく。 せく さく  
せく さくー、そん されい おのれの ゆねを ゆとめす、 さく されを つ  
せくー ゆのい ゆねを ゆとめば あり。<sup>31</sup> され もー おのれの ことよ  
つりと そくうと あらーと あさば せう あらーへ まとと あとす。<sup>32</sup>  
されよ つりと あらーと あすもの やう あり。 され その せう ことよ  
つりと あらー する と そよの あらーへ まとと ありと ある。<sup>33</sup> あん  
ぢと よはねよ ひとと つらを せー ゆめ まととの くめよ あらーと  
あやり。<sup>34</sup> され ひとの あらーと うけす、 され ど ことと とりあら  
あんぢと まよす うひと えせめふ くめ あり。<sup>35</sup> よはね せん ゆく やう  
ひうる と あーひ あり。 あんぢと おとく うのふを その ひう  
りと おうこぐり。<sup>36</sup> されど されい よはねの あらー おり ゆおひ

あるありーあり、ちの已れよとげせんとてあくふる已き  
するもち已ぐおこあふとどうのその已ざりちの已れをつ  
つもせーことを已ぐさめよありーするゆれあり。已く已れを  
トんりおきそのこゑをきりす、そのめうちをもミーことあー。  
38 あるぢトそのことをとさむらてあるぢとのこゑよとどあト  
しめ牛。これそのつもせーものとあるせざるよよりてあり。  
39 あるぢトせりおふとおとべよ。これよおひそめぎりあきりの  
ちをえふとおもふ。このせりももひ已れよつててありーする  
ゆれあり。40 あるまよあるぢトりのちをうるやうよ已れよまさら  
ことをうりせす。41 已れひひとよりあぐめをうけす。42 されど  
已れあるぢトハカミをありすのありをこもうよ ゆざるを  
ある。43 已れひ已ぐちのあよよりてきなりよあるぢト已れを  
うけす。ゆーわのゆのおのれのあよよりてきまさらあるぢト  
られをうけん。44 あるぢトあひさぐひよあぐめをうけてさざかミ  
するべりうれしがれがり。45 されどゆーそのあるせーことをあるせ  
するべりうれしがれがり。46 されど

おりのあぐめをもとめざるものあるよいひであるすることと  
あるゆ。45 已れひあるぢトをちのようりふあるものありとおもふ  
ありれ。あるぢトをうけふあるものひとりあり、すもともある  
ぢトぢよめことするところのもうせあり。46 あるぢトゆーもうせ  
をあるせば已れをもあるせべきあり。そんかれひ已ぐることと  
あるしよれがり。47 されどゆーそのあるせーことをあるせ  
するべりうれしがれがり。

第六章

こののちあをしてべりあの三じうまとひふめ里ういの  
三じうみのむらかへ已ぐり一ヶ。おもせりのひとびとめれよ  
あるぐり。これそのやめるものよおこあひーあ一ヶのある  
一をミーよよのてあり。48 さてあをしておよのがりてでーうらと  
とよゆーことよざせり。49 ときよゆだやびとのすぎとーのあり  
ちうげけり。50 あをめをあげねおせりのものおのれよきさんと  
もをも里ほよりひけみ、已れとりげくよりはなをめかしてこの  
ひとびとよくともしめんや。51 それ三じうとそのあきみとする

ところと もれど めねと こもろみえ さめよ めくりひー あり。  
7 鎮まほ こまへけるい、せんあひやく だけのはなに わのわのよ  
すこー ぞうりと えせー むらむら くとす。 8 でーの うちのひとり  
すともち あもんべての きやうだい あんてれ おもよひけひー、  
9 こまよ ひとぐ あり、めね おもむぎの はんりくと ちのきき  
まうあ あくつむ もう・まれど めく おもくの ひとりとよりうよ  
せんや。 10 あも りひ けひー、ひとびとを すもとせよ。 その とと  
うん くき おあく ありしげ おふそ せん あん わど すもれり、  
11 さて あも ほふと とりあやーとのちこれと すもれるものとよよ  
せけ あくふ・あく さうあゆ ひとびとの その もよ あうせ それを  
せけ あくへり。 12 めねと 三あ あきくらの ちあを でー くらよりひ  
けひー、そくー もくじざる やう その のくらる くらひひくひ  
あくめよ。 13 つりよ めねと あまくせー その くらの おもむぎの  
はなのの こりくげと ひひひ あくめよ おうおの ざまよ そり。  
14 ひとびと あきの おこあひー その あーぎの あくーを みて、これ

あことよ あまくら べきの よけんー やありと くりへり。 15 こまよ  
おりて あも めねと あひて おのれを こまよ あきふと まきを  
ありて こねと まけひ ひとりよて あく やあよ めけり。

16 ひの くま こち でー まち まおぐよ くぢりて 17 ふねよ のり  
かせる あうむよ むうひと うみを こまよ くぢりて せり。 18 すくよ くとく  
あり、あも りあど めねと りよ くぢりしげ おあうせ あきと うみ  
あれ くぢり。 19 あじまじ ちやう あみひ まふドリ ちやう ぞう  
りも こぎ いづせー とま でー まち あもの うみを あみき あねよ  
ちうづと 三と おそれ さり。 20 あも めねと りひ けひー、日射  
あり、おそれ あうれ。 21 こまよ おりと めねと ようくびと あもと  
うけ あねよ のせ ければ あねよ どちよ その ゆうふと する とこ  
うの ちよつけり。

22 あくる ひみづ うみの むうふの きよ からー おわせりの もの  
ども やー こより うみの こぶねの わうふひ あねあく、あく あま  
でー まうと とまよ あねよ の トす、でー の 三 ゆきー ことを ある。

されど てべりあ たり こぶね すなう きたり・まほの おやーと  
 ひとびとよばんを くとせーとこまの ちらくよ つきたり。 <sup>24</sup> わた  
 せのひとびと あそびの こまよ あとす でしも ある あとざるを  
 そそ めれども その あねよのり あそびを うげねて あそびあらむよ  
 りきなり。 <sup>25</sup> めれど うみと こくらりと あそび あひけねば めれよ  
 りひ けみん、らび、りり こまよ きたり さあひしや。 <sup>26</sup> あそ こく  
 くて ひひけみん、めれ あそびとよ あそとよ あそびとよ つけん、ある  
 ちとの あそび さげみみん あーぎの マさを まーゆ あとす、  
 はるを くとらて あくことと えーゆ あり。 <sup>27</sup> あそびと くちる  
 やの さめよ まくじうすと せぎり あま ひめちよ ひまつ あそ  
 さめり とこうの めそ すあそち あそびの むきあ あそびとよ  
 あそびとよ とする もれく さめよ まくじくべー。それ ちも ある かと  
 めれよ いふを おして あらー すれば あり。 <sup>28</sup> めれど あそよ ひひ  
 けるへ、 よれど かみの めりする ことと おこあそぶる あふを  
 あそびまう。 <sup>29</sup> あそ こくじうそりひ けみん、その つうせーと  
 そ

うの ものを あんずかひ これ かみの めりする こと あり。 <sup>30</sup> めれと  
 りひ けみん、 よれども そと あそびを あんずる やうよ ああの  
 あーぎ ある あそびと あそび・ああの よびを おこあらゆ。 <sup>31</sup> よ  
 うの せんぞくちひ おひそ ああと くとへり・めれ てんよりの  
 ばんを めれとよ あそびと くとと 一めりと あそびあそびうみぐ だとー。  
<sup>32</sup> もそ めれとよ ひひけみん、 よれ あそびとよ あそとよ あそびとよ  
 つけん、 もうせん あそびとよ てん よりの ばんを あそびとよ あそぶ。  
 そと ひひけみん てん より くざりと ひめちを よよ あそびの もの  
 かみの ばんを てん より くざりと ひめちを よよ あそびの もの  
 あり。 <sup>34</sup> こまよ おひそ めれと ひひけみん、 まみよ、 つねよ そと  
 はるを よれとよ まみん。 <sup>35</sup> あそ ひひけみん、 よれ ひめちの ばん  
 あり・ よれよ まみる ものひ うへす、 よれ あんずる ものひ ゆもく  
 こと あー。 <sup>36</sup> されど あそびとひ よれを まーよ あや あんせすと  
 よれ やうと あんせとよ つけり。 <sup>37</sup> ちうの よれよ まみふ ところの  
 ものひ まみ よれよ まみうとん・ よれよ まみる ものひ よれ めあとす

られをすとす。<sup>38</sup> よりくざりへ オのれの こううの  
まことおこあふ まめよ あとす。されどつらせーものも むねを  
おこあそん まめあり。<sup>39</sup> よりくざりへ オのれの まこと  
おこあそふ ところの ものを されうーあるまーとを そりのひよ  
こととく これをおみぐへとすることあり。<sup>40</sup> それ よりくざり ちうの  
むねいわ あを みて これをおみぐへとすることあり。されどおみぐへと  
ゆきのちと えん ことあり。これ そりのひよ これをおみぐへと  
せん。

<sup>41</sup> こうよ わりて ゆだやびと あをの、されん てん ありくざり  
ばん ありとりひーことよ つりそつぶやきひけり、<sup>42</sup> これ  
その ちうは まく これとの あるところある よせかの むきおあをは  
あとす。あらゆよ、されん てん ありくざりと いふら いふぞ  
ぞや。<sup>43</sup> あを こうへ けり、あんぢよ まく ひよ つぶやく あられ。  
<sup>44</sup> されを つらせー ちうの ひき まく ものと やうへ され  
されよ きくる ことと えす。かく ひうねて されよ きくる もの

され これを そりの ひよ おみぐへと せん。<sup>45</sup> よりくざりへ オの  
よ、やれど まあ かみよ そーへくる べーと あらまされり。ちう  
より きくと ああびー ものと まあ されよ きくる。<sup>46</sup> ひと ちうを  
そーとりあすい あとす、そーかと あり きくれる もののと。され  
ちうと そー ものあり。<sup>47</sup> まことよ まことよ あんぢよ つけん、  
されを あらする ものと めぎり あま ののち あり。<sup>48</sup> され いの  
ちの ばん あり。<sup>49</sup> あんぢよの せんぞん おのれの ああと そと  
そと あせり。<sup>50</sup> されど このは ばん てん ありくざりー もの  
して これを そと ものと あせり。<sup>51</sup> されん てん ありくざりー  
りける ばん あり。この ばん そと ものと めぎり あく あり。<sup>52</sup> こうよ  
されよ のののちの まめよ あく はん はん はん まく あく あり。<sup>53</sup> こうよ  
おりて ゆだやびと まく ものと いひ けり、この ひと  
りうを その あくを されよ あく そと もー ゆることを えんや。  
あんぢよ あー ふんげんの むすみの あくを そと あー そと

○よはねさる 六三やう 6

四百十

ちをのゆせられどあんぢとのうちよりのちあー。<sup>54</sup> カゞカヂ あくと  
くゞひカヂ ちをのむものめりめぎりあきりのちあり。をもりの  
ひよされこれとおもぐへカシム。55 カゞカヂ ふくらカクラ あことのくひめれ  
あり、カゞカヂ ちんチン あこととのみめれあり。<sup>56</sup> カゞカヂ あくとくゞひ、  
カゞカヂ ちをのむものれされよをる。されぬあるめれよをる。  
<sup>57</sup> いけるちとされとつうモカレ ちとよめそりけすカレ ととく  
されとくゞひカヂ めのゆされよよめそりけすカレ ととく  
くゞりカシム ほんあり。せんざセンザ ちぢチヂ くゞひカヂ わせワセ ととくよ  
あくす、このはんとくゞひカヂ めのれめぎりあくカシム。  
<sup>59</sup> これゑのエノ のかせゐあうむよおりそをしのるとまくさきのどす  
みてりひカシム ことあり。<sup>60</sup> でカシム ちられときとておあくのもの  
りひカシム けすカシム、これカシム ことばカシム か。されうられをきうふや。  
<sup>61</sup> 爰カシム えカシム でカシム さうのこのことよつまつあやうをありそ  
れカシム よりひカシム けすカシム、これあんぢとカシム つあげうすカシム。<sup>62</sup> あんぢと  
もカシム ふんけんのむすあゲカシム ゆとのとさうよのがくカシム とミバ  
りうカシム

ぞや。りうすカシム ものれカシム とまあり。あくいえきカシム あきカシム あり。カゞカヂ  
あんぢとカシム いひカシム ことをいふまあり、いのちあり。<sup>61</sup> されどあん  
ぢとのうちよあんせきカシム むのあり。けがーゑもカシム もドめありその  
あんせきカシム むのいされあすり、めりカシム れとこくさんカシム めのれされ  
あすりとカシム あれるあり。<sup>65</sup> あくいひカシム さおひカシム けすカシム、このゆゑよ已れ  
めりとあんぢとカシム いへり、ちとよりカシム さおもカシム あとさればひと  
されよカシム こととをとすと。<sup>66</sup> このとせありでカシム おあく  
ありカシム あくゑカシム ととよあすうざりき。<sup>67</sup> こまよおりそをう  
のでカシム いひカシム あひカシム 、あんぢとカシム さうんとわにすカシム。  
<sup>68</sup> あもんべてろカシム へけれり、きみよ、されとカシム ゆゆうるや。ああ  
さうめざりあきりのちのことををカシム まちカシム す。<sup>69</sup> ああういわきの  
きふきカシム ものあすをされとカシム あふとカシム さうよある。<sup>70</sup> 爰カシム いひ  
くカシム けすカシム、これあんぢとカシム おうあくカシム をえうびカシム よあとすや。  
あうよカシム あんぢとのうちのひとりカシム あくカシム あり。ほそのことをい  
いせかりおてのカシム あもんのカシム むすおゆだカシム さしてカシム いへり。そ

めねんおうふでーのひとりよーとあ生を こころせんとする もの  
あれどあり。

第七章

この のちあ生れ ゆだやびとゲ めねを こうせんと そらる  
ゆゑよ ゆだやの うちを めぐる ことと そのあむして がりの  
うちを めぐり くまへり。 9 そと ゆだやびとめ あくそりの まうり  
ちうげき ければ 10 その きやうざりうち あそよひけり、 あら  
ちの でーよ あらぢぎ あす ところの こさと そせしめん くめよ  
こうと さりて ゆだやよ ゆくべー。 11 そらねのれと あともさふと  
ありて ひそくよ ことを あすもの あらす。 あらぢもー これとの  
ことを あらば そげうと よふ あともせよ。 12 これ その きやう  
ざりゆ めねを あらせぎりー あり。 13 こうよ おのて あも めねとよ  
りひ けり、 こぐ ときり いあど いふとす、 あらぢとの とき  
つねよ そあとれり。 14 あら あらぢと あくせ こと あもとす、 あら  
めねを あらむ。 15 これ その ねこあふ ところへ あーとと あらー  
すれどあり。 16 あらぢと この まうりよ の めね。 これひりおこの

まうりよ の めね。 そん こぐ とき いあど いふと されば あり。  
9 あ生 これとの ことと いひて かせりよ と あれり。 10 されど  
そな きやうざり どもの まうりよ の めね。 ち めねも あともよ  
せす、 ひそくよ の めねり。

11 まうりの ときよ ゆだやびと あ生を さげね て いひけり、 めの  
ひとり いひくよ あるや。 12 さて おわせりの うちよ めねよ つくと  
おわく つぶやくこと あり。 ある ものひ、 めねひ よき ひと ありと  
りひ。 ある ものひ、 あうとす、 めねひ たまを あらをすと いふ。  
13 されど ゆだやびとを おそれて ひとり めねの ことと あともよ  
りふ もの ありりき。

14 まうりの あうを どう あ生 みやよ の めね て そーへ ければ  
15 ゆだやびと こねと あやーと そりひけり、 その ひと ああをざ  
うよ ああよ よりて あみと あみ。 16 あ生 あれよ こくへ けり、  
こぐ を くゆる と どうへ めねの そーへよ あとす、 こねを つうを  
せー ものへ そーへ あり。 17 ひと ゆー その むねよ あうだをば こ

を一ぐんかとありますり、あらひにされおれよりりぐるある  
うとあるべ。<sup>18</sup> わのれよりりぐるものにわのれの、わのれを  
もとむ・わのれとつらむせーもの、わのれとめとむるもの  
あととあり・そのうちよあきあー。<sup>19</sup> もうせあらぢとよねまくと  
さうけーよあとすや。あらぢよあらぢとのうちよそのおまくと  
あゆるものあー。あらぢとあふゆゑよされとこうきんともう  
るや。<sup>20</sup> ひとつとこうへけられ、あらぢとあくよつられする  
ものあり・これらあんぢとこうきんともうるや。<sup>21</sup> 無をこうくと  
かれとよりひけられ、されさせよひとつにさせをあせしょある  
ちとまあこれをあやめり。<sup>22</sup> もうせあらぢとよめのれをさう  
けーんそのもうせよりあるゆゑよあとす、せんぞくもありある  
ゆゑあり・あらじとあんぢとれあんぞくわちよひとよめのれの  
をねどある。<sup>23</sup> ひとつもうせの、おまくよそむうぬやうよあんぞく  
あちよめのれをうくるあとばあんぢとれせりあんぞくわちよ  
ひとをまくくりゆせーゆゑよされをりくろり。<sup>24</sup> あんぢとくろ

ぐよよけとせうがむるあられ、こだまきせうがめをあすべー。  
<sup>25</sup> このときあるきむの、あるひとりひけられ、かれんひとび  
とのこうきんともうるとこうの、ゆのよあとすや。<sup>26</sup> みよ、かれ  
もうじとよーとりくよられととがむるものあー。つうさうどわ  
めのきりをとあるをあらぢ。<sup>27</sup> されどされとこのひとの  
りくよりきりある、きりをとのきりとせり、されゆその  
りくよりきりある、きりをとのきりとせり、されゆその  
をとゆるとき、よせりりひけられ、あらぢとされをありある  
けりのうくよりきりとせりある。されにまぐりときりとせ  
あとす。<sup>28</sup> されにされをある。されにまぐりときりとせり  
されをつらむせーものあればあり。<sup>29</sup> こうよおゆくひとびと  
ととくとくとそれどあるときの、いあざりとせりある。ありて  
ととくとくとそれどあるときの、いあざりとせりある。ありて  
ととくとくとそれどあるときの、いあざりとせりある。ありて

ぎのあくまへこのひとのあせりとどろありおもうとんや。<sup>32</sup> やり  
さいびとたまのあまよつりをめくひをうよろんすとまく一ヶ  
だりきりへまうとせりといびとめれをとどくふとてあくまへを  
つうせせり。<sup>33</sup> こまよおりてあをりけるい、これあやあをト  
くのあひとあんぢととゆよありてされとつうせせりものよ  
せん。<sup>34</sup> あんぢとされをさげぬるあん・されどあもす・ヨグ  
をるところよあんぢとまくることあくもざるべー。<sup>35</sup> ゆだわびと  
あひさゞひよりけるい、とのひとにされとせりあもざるやうよ  
りげくへゆうふや。ざりああのうちよちりくるゆのよゆきとざり  
ああびとよをしんふとすらり。<sup>36</sup> めれぐめりりて、あんぢとされを  
さげぬるあん・されどあもす・ヨグをるところよあんぢと  
さざることあくもざるべーとりひへんああびとぞや。

<sup>37</sup> あづりのをもりのおやひあるひよをももてよももりりひ  
けよひ、されりゆーせもうばされよきさりてのむべー。<sup>38</sup> されを  
あんするゆのれせのあくよおきされうるごとくそのもとより

りける みう めの ひとくよ あられ いだん。<sup>39</sup> この ひとくよ  
かれを あふする ゆの うけふと する みくすと せーと いひ  
あり・そんあをりあどあがめと うけざまよ よりて まくまく みくよ  
うがくざれど あり。<sup>40</sup> ねあせりの うちの ある ひととれとの こと  
を まくと、こら あととよ ゆの うけふー や ありと いひ。<sup>41</sup> ある  
ひとと、これ きりもと ありと いひ。されど ある ひとと いひよ、  
きりもと が まくひ あり いひよ。42 せりあふよ、きりもとれ だび  
での すとすと だびでの せりー まと べて せへむ より いひよと ある  
されしよ あふすや。<sup>43</sup> やくそ ねあせりの うちよ めれよ つりと  
あうさげひ あり。<sup>44</sup> めれを とどくふと わけやー もの ありーうど  
て ざーする ゆの あうりき。

<sup>45</sup> あくまへだりきりへまうと せりといびとの ゆとく めくり  
ければ めれと あくまへよりひけよ、あんぞ めれと ひき まくと  
ざるや。<sup>46</sup> あくまへだりきりひけよ、ひきどこのひとの ひとく  
りひー ひと あくま。<sup>47</sup> せりといびと めれよ いひけよ、あんぢ

トモ あどぞ されし。48 つうさ あるひん やりさいびとの うちよ これ  
を あらする もの あらう。49 おきを あらざる この たまへて ふを  
うと うく べき あり。50 その うちの ひとり さきよ 「ある」 あ生の  
もとよ まくらり にこでも めれどよ いみけり、51 されトの おき  
そん うけくらむ ひとよ きりす あく その あす ところを あト  
さる さきよ その つみを さざむすり。52 めれト こうへ いみけり、  
あんぢも がまといの もの ある。あとべて きよ。がまといより  
よけふ一 りげる こと あー。〔53 こうよ おりそ めれト エの物の  
その いくよ めぐり、あ生ハ かんらんざん ゆけり。〕

**第八章** 「ああけよ あ生 あら みぬよ いりよ<sup>2</sup> たま まお その もと  
よ まくらり けれど さて めれとよ そーへ くまぐり。3 あまやくと  
せり さいびと ひとり の めるのんと と と れる を あを めれよ  
つれ きくらり、4 あを あうよ おきそ いみけり、せんせりよ、この  
を ああい めんのんを おとあひ あると まよと とくとれり。5 もうせ  
おまその うちよ つかの ごとき むわんり すて うち こうす べーと

5 われよ めのせり・あんぢも あふとり あらゆ。6 めれと うれを  
りめくへ あ生を うけくら べき ことを さりざさん さめよ めれを  
こううまー あり。あうよ あ生の みと めぐめ ゆびよを つちよ  
めく。7 われト あきりよ とひくらば あ生 おきそ めれとよ むらひ、  
あんぢトの うち つみ あき もの まげ いーを めれよ あぐべーと  
りひ、8 あこ みを めぐめそ つらよ めけり。9 めれト これ と きく  
その わふしづよ せめとれそ とーよりを そドめ どうき ものよ  
りくる あを ひとりびと うじゆけり・10 あを ひとりの どり  
を うよ あら あうよ とそり。10 あを おきそ そんの わうよ ひと  
あ生を そそ めねより ひけり、そんあよ、あんぢと うけくら  
もの うじくよ そくら。11 われも あんぢを つみよ さざめざり一 や。  
11 そんありひける、まくら、それも まざめす。あを めねよりひ  
けふ、われも あんぢを つみよ さざめす。あを めねよりひ  
を うす あうれ。」

12 あを あら ひとびとよ わくら うじひける、われも よの ひうり

あり。されよ 然るべく ものに やうの あすを あらうやうして いの  
ちの ひきりと うくべー。<sup>13</sup> こゝよりて なりまへばと されよ げひ  
けり、あるぢに そらうと おのれよ つのを あらうと あす。ある  
ちの あらうと あことと あとす。<sup>14</sup> 無を こゝへ けり、され そら  
うと おのれよ つのを あらうと あすと ゆ こぐ あらうと あことと  
あり。そん され いづく あり きなり、いづくへ ゆくと あねば あり。  
あるぢに そらうと あらうと あすと あらうと あとす。<sup>15</sup> ある  
ぢに あらうと あらうと あらうと あらうと あらうと あらうと あらうと  
つみを ゆ せざめす。<sup>16</sup> されど され ゆ一 せざむること あとば こぐ  
さざめい あことと あり。そん されに ひとり あらうと あとす、されを  
つらを ゼー ちとと あらうと あれば あり。<sup>17</sup> あるぢの おまくの うち  
あらうと おのれよ つのを あらうと あすもの あり、されを つう  
あらうと おのれよ つのを あらうと あすもの あり。<sup>18</sup> され  
そぞー ちと やれよ つのを あらうと あす もの あり。<sup>19</sup> こゝよ  
おりて ひとびと ひけり、あるぢの ちと いづくよ あらう。

名をこなへけり、あるぢどりこれとあじゆ、あくと豆がちうをも  
あじゆ。あるぢどり一これとあり一あじゆ豆がちうをもあじゆ  
あじゆ。<sup>20</sup> こねづのことそい名を みやの あり、さのせんをもそを  
ねける とこううすを そーゆる ときよりひきあひーあり。あうるよ  
われの ときりあざりまざる ありて そーする もの あうりき。  
<sup>21</sup> 名を あるひとびとよりひけり、こねいゆうえ。あるぢど  
りれと そげぬべー。あうしておのれの つみの うちよ ああん。こぐ  
ゆく とこううすを あるぢどり いふる こと あるをす。<sup>22</sup> こまよ ねのそ  
ゆだやびとりひけり、こぐ ゆく とこううすを あるぢどり いふる こと  
あるをすと われぎりひーへ あさり せんと する こまろ ある。う。  
名を われどよりひけり、あるぢどり あゝ おり あり あり。こねれ  
うん あり あり。あるぢどり その ょ あり あり。こねい その ょ あり  
よ あじゆ。<sup>24</sup> この ゆ名よ こね あるぢどり おのれの つみの うちよ  
ああんと りくり。あるぢどり これの われ あるを あるせすらば  
のあじゆ おのれの つみの うちよ ああん。<sup>25</sup> われどりひけり、

あるぢり されど。ゑも りむけむい、もじめ より あるぢとよ  
つけーどとく されい その もの あり。<sup>26</sup> され あるぢとよ つゆそ  
ゆる べき こと つみを さざね べき こと おやく あり。され  
つもせーもの あらと あり。され めれ ありきとーこと いふ され  
よ つぐ。<sup>27</sup> ひとつ ゑも ちと さーと りひーを さととさ  
りき。<sup>28</sup> さて 無毛 めれと ひひけり、あるぢと あるけゐの むす  
みを あけーの ちよ され の めれ あると あり、つゝ され そげうと  
あふらと とも あきず、さう ちうの され も へんと こう まゐ  
ぐみて これ との ことを つけーと あるべ。され と つもせー  
もの され と とも は あり。され され と ひとり おき くまもす。  
され され つねよ その ようとが と うの こと と あせば あり。  
<sup>30</sup> 無毛 これ との ことを つめり と おわづの もの めれ を ある  
せり。<sup>31</sup> こゝよ おりて され おのれ を ある せー ゆだ やびとよ いひ  
けむい、あるぢと もー もー と どあと あらぢと あら  
とよ もー あり。<sup>32</sup> やく あらと と ある せん、あらと と ある せんとよ

おゆうを乞ひせん。<sup>33</sup> ゆだやびとめれよりひけり、これよりあがめ  
はむのすゑよして、いどひともつあぐれくるるゆべとあり。  
ことあー、あらゆるこれよおゆうを乞ひせんとあらぢのりひ  
しらあふごとぞゆ。<sup>34</sup> 無もこうへけり、これあことよあことよ  
あらぢよつけん、すぐそつみをもろすものいづみのあらべあり。  
おゆべりりつあゆりくよとどあるゆのよあとす、むすあん  
りゆゆとどあるあり。<sup>35</sup> このゆゑよむすおゆーあらぢよ  
おゆうを乞ひせんとあらぢのりあことよおゆうのものとあらえ。  
されあらぢのりあがめはむのをもんあらをもる。あらねども  
あらぢとされとこちきんともうる。され已れことをあらぢの  
うちよりとざれどあり。<sup>38</sup> これにこぢちのゆとよてミーことを  
りふ。あらぢのりあらぢとのちのゆとよてミーことをねら  
あふ。<sup>39</sup> われどこくそいひけり、これのちのちのあがめはむ  
あり。ゑをひひけり、あらぢとゆーあがめはむのあどゆあとば  
あがめはむのおもあふところをあせざまあり。<sup>40</sup> されどいふある

ちとくらかとよりきく一あこととをつぐるものある。已れをこう  
さふともうる。これあぶらはむのねこあふところもあらず。あぶ  
ちとくらあんぢとのちとのねこあふところをあせらるあり。<sup>41</sup> めれと  
りひけり、已れといめんのふよおにてむあれーものよあとす。  
已れトよりひどりのちとすあもちかとあり。<sup>42</sup> あそりひけり、  
かとくあんぢとのちとあとばあんぢとひあとす已れをあり  
せん。已れかとよりのをきまねばあり。已れにみげうとまく  
らはあとす、かと已れをつうもせーあり。<sup>43</sup> あんぢと已くこと  
をきととざまへあんぢや。これ已くことをきくことあくを  
ざまよよりてあり。<sup>44</sup> あんぢとひあんぢとのちとせんき。あり  
あり、あんぢとのちとのよくへあんぢと已れをねこあふことを  
このね。已れもじめありひとごろーうしてあくとのうちよ  
さく年、あとと已れのうちよあとざねばあり。已れりつもりを  
りふとせりおのれのうちよありりふ。それ已れいりうるもの  
あり、めくりうるるものちとあればあり。<sup>45</sup> 已れもあくとと

りふよよりてあんぢと已れをあふせ。46 あんぢとのうちよれり  
已れとつみよあくさせえぬ。これゆーあこととをりとばあふ  
ちとあふぞ已れをあふせざる。47 かとよりあるものにかとの  
こととをきく。あんぢとひかとよりよあとざるゆゑよ。これを  
きくす。48 ゆだやびとこうそりひけり、あんぢとさまりあびとよ  
してあくよつうれさりと已れとぎりくみれうべあとすや。49 あを  
のひけり、これあくよつうれさるよあとす。已くちとをきく  
とむよあんぢと已れをめうふするあり。50 已れおのれのやま  
れをゆとめ年。これをゆとめひくつみをきざむるものあり。<sup>51</sup> され  
あことよあことよあんぢとよつけん、くわれりもー已くことをと  
あもとばそのひとくりつあどもあととざるべー。<sup>52</sup> ゆだやびと  
めれよりひけり、りよ已れとあんぢとあくよつうれさりを  
ある。あぶらはむすゞよあよ、あけふーゆもあせり、あくよあふ  
せり、されりもー已くことをあもとばそのひとくりつあども  
あせりとりふ。<sup>53</sup> あんぢとせりをあふらはむよりもおわら

○ よはねどい 八玄やう 8

四百二十六

ある もの ある。 われへ あるより、 よけんへ やくらむ あせり。  
あんぢん みづうと されと すらむ。 54 無を こくへ けり、 され  
ゆー みづうとを あぐめあべ 可だ あぐめへ むえき あり。 されと  
あぐむる ものへ さげ ちく すあそち あんぢんと ざれとの かまと  
とあかる ところの もの あり。 55 あんぢん われを あくす、 され  
かれと ある。 され ゆー われを あくすと いもば されへ あんぢんの  
ひときりつする もの あとん。 されど され われと あり、 やく その  
ことを ある。 56 あんぢんの せんを あぶらはむん されの ひを  
えん ことと おわひよ やけー やく これと そそ よろうと ぐり。 57 ゆだや  
びと われよ りひけり、 あんぢん とー りあど ごとく すも あト  
ざるよ あぶらはむと みーり。 58 無を りひけり、 あくとよ あくとよ  
あんぢんよ つけん、 されへ あぶらはむの あとさる さま おり ある もの  
あり。 59 こくよ わくと されと いと とりと されよ あけ わけふと  
せり。 されど あせん みくれと みゆ より いと ゆけり。

第九章

無を こくを さりと むすれり まの めくとと みーげ 9 その

でー われよ とあそ いひけるい、 らび、 こね ひとの むすれ あぐと  
めくと あくわん されの つみよ ある。 わの わの つみ ある、 あくの  
り その あくわん の つみ ある。 6 無を こくへ けり、 こね ひとの  
つみよ ふとす、 その あくわん の つみよ ゆくす、 さゞ われよ  
おひて かまの こきの あと それ くめ あり。 7 されを つる せー  
もの くさせと されと ひるの うちよ あす べき あり。 8 され もく  
とく こと あくを ざる ところの どう きく くへん。 9 され もく おる  
とき よの ひりり あり。 6 わく いひて ちよ つを すー、 つを すを  
つらよ あせと どうを つくり されを めくと めよ ゆりと されよ  
りひけるい、 10 赤あむの いけよ ゆきと あとへ。 赤あむを とけば  
つらも ざる のりと あり。 され つりよ ゆきと あとひ ければ ざる  
ことと えと あくれり。 8 と あり びと おあび ざつと その こドキ  
ありと 三一 もの ども いひけるい、 これ すそりと もれと こひー  
ひとつ あとすゆ。 9 ある ひとへ、 こん われ ありと いひ。 ある  
ひとり、 われよ ふくる もの ありと いひ。 され みづうと、 され

17 めれど あくめくとよりひけり、かれあんぢのめをひとき  
18 よより あんぢかれのこととあるとひるや。こゝへけり。  
かれん おげふいやあり。18 ゆだねびとく そら こととおーものと  
あくめやとおーあんぢかれがめくとすてそゆるやうもあり、  
こととおんせきりき。19 めれど そのあくめやようげねりひけり、  
あんぢとく むおれのまのめくとありとりくる あんぢとのむす  
あんぢれあくま。さればりおりうるーてそることをうまく。20 その  
あくめや こまくそひかくと、これにれどのむすあくまーとむおれ  
うまく、されど これをあくま。あくそのめをひとかー ゆのをゆ  
あくま。かれよ えうねよ、かれ ねとま あり、かれ そげうち  
りもん。21 そのあくめやのめくりのーんゆだねびとそおそれとあり  
そら さすよ ゆだねびとそうりと、ひともー 異をきりをとありと  
りひ あトモ さば その ものへ そきのどうよりひすすべーとさざめ  
されが あり。22 ゆゑよ その あくめや、かれ ねとま あり、かれよ

うげねとりひーあり。

<sup>24</sup> めれト あくさきよめくト ありー ものを よびて これより  
けりへ、わかれを かみよ きせよ。 われト めの ものへ つみびと  
あくを ある。<sup>25</sup> われ こうへ けりへ、われへ つみびと あくや ありあや、  
われへ ふとす。 ふと ひととのこと すあそち われへ さかよ めくト  
ありー うどぬ いおみゆる やうよ ありー ことと ある。<sup>26</sup> こねよ  
よりそ われト いひけりへ、われへ あんぢよ あふと あせー や。 う  
ふーと あんぢのめと ひとまー や。<sup>27</sup> こうへ けりへ、われすすよ あん  
ぢトよ つばー うどぬ あんぢト きりす。 あふのあよ あく きりふと  
すらう。 あんぢとも その でーよ あくふと わけすらう。<sup>28</sup> こうよ  
おりそ われト これと の くーりそ いひけりへ、あんぢへ その  
ひとの でー あり。 われト あうせの でー あり。<sup>29</sup> かみの あうせと  
めうりー ことと けれト これと ある。 されど めの ものへ いひぐく  
ありあくら けれト ふとす。<sup>30</sup> その ひと こうへ いひけりへ、われ  
ふらめを ひくまーよ あんぢと その いひぐく あり あうと ふとす、

これ いとうあ やー も べき こと あり。<sup>31</sup> われト かみへ つみびとを  
きく さあそ ざくと ある。 されど ひと ゆー かみを をぎみて その  
むねを おとあそば これを きく さあそ。<sup>32</sup> よの もとめ りり こ  
めく いおど むわれのめのめくのめを ひとまー ゆの あくと  
きりす。<sup>33</sup> めの ひと ゆー かみ ありよ あとぎわば あふごとをも  
あー えぐる ゆー。<sup>34</sup> われト いひけりへ、あんぢへ あの こうへ つみの  
あくよ むわれー ゆの あくよ けれト きー ゆく。 つりよ われを  
おひり づせり。

<sup>35</sup> 無毛 その わひ いだされー ことを きく われよ あくと いひ  
けりへ、あんぢ あんげんの むすみを あんずる。 <sup>36</sup> こうへ いひ  
けりへ、きみよ、めれとーと いひ あんす べき ものへ され ある。 <sup>37</sup>  
あも いひけりへ、あんぢ われと みる、いは あんぢと める  
ところの むのへ それ あり。<sup>38</sup> われ いひけりへ、きみよ、きれ あん  
すと。 つりよ これを はりせり。<sup>39</sup> 無毛 いひけりへ、われへ きみよの  
くめす あそち みくさる むのへ と ある ことと えせー め、 みゆら

ものぞしてめくとあらめんとめよこのよよきれり。<sup>40</sup> われ  
とともよありすふるのたりさびとこのことをきみてわれよ  
りひけり、されどもめくとある。 <sup>41</sup> 無をひひけり、あるぢと  
もくめくとあとばつとあきもの。されどりよみゆとりひよ  
よりてあるぢとのつまらのこれり。

**第十一章** られあくとよあくとよあるぢとよつけん、切りどのおりよ  
りくよそのもんよりりくとくとやうのとくとよりくよるもん  
みすびとあり、とうぞくあり。<sup>2</sup> もんよりりくのりくの  
せひめーあり。<sup>3</sup> ウドよりはわれのくめよひく、切りどんその  
こゑとさく・われおのれの切りどんあとよびてこれをひげす。<sup>4</sup>  
すぐよその切りどんことごとくひきひづせーときひこれよ  
さきだちゆく・切りどそのこゑをあらゆるよめれよあらぎふ。<sup>5</sup>  
されどたわらうへあさぐを余わへりてわれよりあけん・そん  
たわらのこゑをあらぎればあり。<sup>6</sup> 無をこのくとくをひとびとよ  
りひくうどそのゆふれるところのくまうをまとくさりま。 <sup>7</sup> この

のゑよゑもあるわれどよりひけるい、あくとよあくとよあるぢ  
とよつけん、されば切りどんのもんあり。<sup>8</sup> われよさきだりてきく  
りーものんとあみすびとあり、とうぞくあり・切りどんこれを  
きうざりき。<sup>9</sup> われもんあり・われよりりくのものんすくをれん、  
あるでりりとあーとくとくとうべー。<sup>10</sup> めすびとのさくま  
ゆすと、こちー、うろがさんとすのわらあー。 <sup>11</sup> わくきまくいー  
切りどんとてりのちをえせーめわらこれとゆくうようけーめん  
きめあり。<sup>11</sup> われよすき切りどんひあり・よき切りどんひむ切り  
どんくめよあくとくとてきくやとそれーものんおあくのきく  
せひめーよあくとくとてきくやとそれーものんおあくのきく  
るをえび切りどんをすくとあぐ・おあくのりく切りどんをうをみて  
われをちくすあり。<sup>13</sup> そのあぐまにわれやとそれーものなーと  
切りどんめくりとざるよよけとあり。<sup>14</sup> われよき切りどんひ  
よくとおのれの切りどんをあら、可う切りどんをれどある。<sup>15</sup> ちく  
われとありこれちくをあらうぐまとく。われ切りどんのくめよりの

ちをすり。<sup>16</sup> よれ このおりよあとざるやうのものトを ゆでり。これこれをゆひき まくるべー。ゆれどん よれ こゑを まくらん。そのときひとうのむれ、ひとうのゆひぬーとあとん。<sup>17</sup> よれあるよびりのちを えんとそ よれ りのちをするゆゑよ ちと よれをあります。<sup>18</sup> よれも その りのちを よれ あり ともよ あとす、これ まげうト これをするあり。よれ これを すうみのけんあり、あるこれを とみのけんあり。このめいん よれ やつて よれ ちと あり うけーあり。<sup>19</sup> ゆだやびとの うちよ まと これとの こととよよりて あうよ うげひ あり けるうげ<sup>20</sup> その うち ゆあくの もの りひ けく、めれへ あくよ つうれ くふくするあり。あんぐト あんぞ われを まくら。<sup>21</sup> ある もの りひけひ、これ あくよ つうれ ものと こととよ あとす。あくよ めいんの めを ひとく ことを えんや。

<sup>22</sup> あゆの ころ あるきむよ みや きさめの まうり あり うげ<sup>23</sup> よれ みゆの そろせんの けんくらんを あくよ まくらよ まくら ゆだやびと われと

とりうこみて りひけひ、あんぢ りのすを よれと うみぐをす  
ふう。あんぢ ゆー きりをと あとば あきだうよ よれとよ つけよ。  
あを こくへ けふひ、よれ あんぢとよ つけーうどあ あんぢと  
あんぢよ。よれ よげ ちと の あよ おけと あす と とくの よざひ これ  
よれよ つりそ あうーする もれあり。<sup>25</sup> されど あんぢと あんせす。  
そい あんぢとひ よげ けうトよ あくざねば あり。<sup>26</sup> よげ けうトひ  
よげ こゑを まく。これ われとを ある。ゆれとひ これよ あくぎよ。  
よげ やぎり あきりのちを これよ あくよ。ゆれとひ りのすを むわう  
びす、あくよげ て あり これと うをひとる もの あー。<sup>29</sup> ゆれと  
よれよ まくひー よげ ちと いすゞくの もの おり おわら あり。よげ  
ちと の ちより われと うをひ うる もの あー。<sup>30</sup> よれと ちと と  
ひとうあり。

<sup>21</sup> こゑよ わりと ゆだやびと まくりーと とりと われと うみぐと  
せり。<sup>22</sup> あを われと よりひけひ、これ よげ ちと よりの ゆあくの  
よき よきと あんぢとよ あめす、その うちの りうれの よきの よめよ

あんぢうりへゆき、なれを うふふと すまう。<sup>33</sup> ゆだやびと こくへ  
けぐれ、なれじぐりへゆき、あんぢう うぐれ よき なきの うめよ  
あくす、なでけぐす ことと あー、あんぢひと あるよ うぐうとを  
わざと すねば あり。<sup>34</sup> 無を こくへけぐれ、あんぢうの おきとの  
うちよ おるぐるうよ あくすや、なれ いぐり、あんぢうか  
ありと。<sup>35</sup> せりあふらむりす づくとす もー かみの ことを とうけ  
ものと かみと とあんぢう ちうの きよめ こくもと よつとを せー  
もの、なれ、かみの むすお ありと いぐをと あんぢう なれを  
けぐすと いふ べけふや。<sup>36</sup> なれ もー こく ちうの きよめ あき  
せんば なれを あんずる ことと あんぢう せんりて あくえ、ふめあり。  
なれを あんせんと その ききを あんせん。そんちう なれよ きり、  
なれよ ちくよ きる ことと あんぢう せんりて あくえ、ふめあり。  
<sup>37</sup> なれよ あくえを とくへんと もうりへゆき なれ その てをのぐ  
れて さり、<sup>38</sup> あるよ たんの むらふ ある よはねの そとめ おげめを  
あせー とこうよ ゆきを つーとよ とどおれり。<sup>39</sup> さて おあきの ひと

びと なれよ きくり、なれ いひけぐれ、よはねひ あーぎの あるーと  
おこあこす。なれども よはねの この ひとよ つりそりひーことと  
もああこと あり。<sup>40</sup> いしとよ おりそ おあきの もの なれを あんせり。  
**第十一章**  
まりあと その あねまるたの すめる むと べたに あよ うざろと  
りくる もの やまと なれ。 <sup>2</sup> まりあん なまよ あわひ あぶとを まみよ  
みり なれの うみの けを もりて その あーと みぐひー もの あ  
あね あまの ゆとよ、ききよ、ああひの あいする ところの もの やま  
ひよ みれりとりひつらをせり。<sup>41</sup> 無を なれを きくと いひけぐれ、  
この やまひ なすよ あくす、なで かみの なうきの うめ、かみの  
むすひの なれよ よりて あぐめ なれ くめ あり。 <sup>42</sup> それ まるたと  
その いもうと おあび うざろひ なまの あいする ところの もの あり。  
なを すぐよ なれの やめ なを きくと あや その をる ところよ  
あううと どおれり。<sup>43</sup> のち でーくらよ いひ くあひけぐれ、なれと  
あゆだ やよ いくづー。<sup>44</sup> でーくちりひけぐれ、らび、ゆだやびと